

人 話 世

西 尾 末 廣 松  
安藤國

西田吉次郎

西田吉次郎

西田吉次郎

西 尾 末 廣 松

## 聯合委員會に對する友愛會の答申原案 神戸鐵道局聯合委員會諮詢申案

諮詢 申 事 項

責任觀念を養成するには如何なる方法に據るべきか意見承り度し

答 申

(一) 鐵道事業の組織及經營の状況を現業員へ周知せしむる事。

現業員をして交通運輸工作等の各職務が國家組織及社會文化の上に如何に重大なる關係を有するかを周知せしむるは責任觀念を養成に資する所大なり

補習教育こそ相俟て社會教育を盡んにすること。

補習教育が能率増進に對して多大の効果ある事は吾人の憂に答申したる事なるが更に現業員の責任觀念を養成するには之と相俟て社會教育の普及を必要なりと信す

(イ) 每月數回定期に行ふ事。

(ロ) 従來精神講話のみなりしものを擴張して一般社會生活に必要な科學的講話をなし常識の發達に資す可る

現業員の現在の生活は頗る不安の點少なからず從つて責任觀念等を考慮するに先づ生活問題に追はれ今日を如

何に暮し老後を如何にし災害に際し如何に處するかの不安の念に追はれ過度の勤務に心身共に疲勞しつゝあるは蔽ふからざる事實問題なり。故に其済組合の組織を改善し、工場法に據る給與を開始し、最低賃金制度を確立し労働保険法を制定し現業員の生活を保障し勤務時間を短縮して心身を安んぜしむれば責任觀念は自ら發生す可きを要ばず

(四) 現業委員制度を徹底せしむる事。

丁	第
丁	第